

カリキュラム 区分		授業 科目	生活文化史 Cultural History			担当 教員	鬼頭 尚義 (非常勤)	
開講年次	2年次前期	単位数	2単位	科目 分類	看護学の基盤となる 科目Ⅰ	授業形態	講義	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい								
<p>【講義テーマ】 文学と病 - 文学作品における病気の書かれ方・描かれ方</p> <p>医学が未発達であった時代において、人々は病というものをどのように捉えていたのであろうか。現代を生きる我々から見ると、その捉え方は聊か奇異に映るやもしれない。しかし、それを「馬鹿げた思想」・「事実誤認の誤った考え」と切り捨ててしまっは、何も始まらない。先人の思想を読み解く事で、我々が得られる事も多いのではないだろうか。</p> <p>本講義では、主として文学作品や絵巻物などにおける病の書かれ方を読み解く事で、先人らが病とどう向き合い、どう受け止めていたのかを解き明かして活きたい。</p> <p>先人の思想・知恵を学ぶ事は、医療従事者を志す本学の学生諸君にとって、大変意義深いものであると考えている。</p>								
授業のキーワード								
文学 説話 伝説 習俗 病								
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回	【授業テーマ】 ガイダンス - 古典を読み解く基礎知識							
第2回	説話文学と病①	- 『日本霊異記』・『今昔物語集』など						
第3回	説話文学と病②	- ①のつづき						
第4回	説話文学と病③	- ①のつづき						
第5回	絵巻物における病①	- 病草紙を中心に						
第6回	絵巻物における病②	- ①のつづき						
第7回	絵巻物における病③	- ①のつづき						
第8回	女性歌人と病①	- 小野小町・清少納言ら						
第9回	女性歌人と病②	- ①のつづき						
第10回	女性歌人と病③	- ①のつづき						
第11回	伝統芸能と病①	- 祇園祭						
第12回	伝統芸能と病②	- 夏越しの祓えなど						
第13回	民間習俗に見る病氣予防①	- 江戸時代のおまじない						
第14回	民間習俗に見る病氣予防②	- ①のつづき						
第15回	民間習俗に見る病氣予防③	- ①のつづき						
テスト								
テキスト	特に指定しない。適宜レジュメを配布します。							
参考文献	必要に応じて授業中に紹介します。							
成績評価の方法と基準	学期末試験と平常点							
教員から学生へのメッセージ	<p>古典というと、少々取っ付き難いイメージがあるかもしれませんが、この講義ではそうした「難しさ」とは無縁です。皆さんが良く知っている先人の裏話なども交えながら、講義を進めていく予定です。</p> <p>また、受講者の積極的な発言・質問は大歓迎です。教員を「困らせるような」ユニークな質問を心待ちにしております。</p>							